

4月号 防災屋さんのNewsLetter

天井に住む「見守り役」、電池切れで眠っていませんか？

～引っ越しの片付けが一段落した今こそ、防災のゴールデンタイム～

入学、就職、転勤。新しいお部屋での生活はワクワクしますね。

でも、家具の配置やカーテン選びと同じくらい大切なのが「火災リスクの配置換え」です。

「前の住人がつけていた警報器があるから安心」……ちょっと待ってください。その警報器、ちゃんと動きますか？



■ 新生活「30分」でできる安心セットアップ

住宅用火災警報器の点検

ボタンを押すか紐を引くだけで点検できます。電池切れや故障がないか、全部屋確認しましょう。

「もしも」の避難シミュレーション

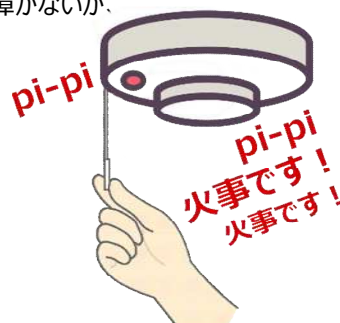
玄関が使えない時、どこから逃げますか？

ベランダの避難はしごの使い方は？

夜中に停電しても、迷わず出口へ行けますか？

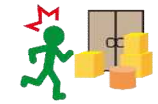
家電の「裏側」をプロテクト

新品の家電も、配線が家具に踏まれていれば火災の元。壁とプラグの間に隙間を作り、ホコリが溜まらない工夫を。



🌸 新生活スタート！わが家の「防災デビュー」チェックリスト

新居での生活が始まる4月は、住まいの安全をゼロから構築できる絶好の機会です。以下のポイントを、家具の配置や片付けのついでに確認してみましょう。

新居での安心をセットアップするための3分チェックリスト		
カテゴリ	リスク点検	具体的なアクション
電気の安全	トラッキング現象 	冷蔵庫やTVなど、差しっぱなしのプラグにホコリが溜まっていないか確認する
	配線の損傷 	電気コードが重い家具の下敷きになったり、無理に曲がったりしていないか確認する
	通電火災の予防 	強い揺れで自動で電源を切る「感震ブレーカー」の設置を検討する
暖房器具	ストーブの周辺 	ストーブの周りに、倒れてきそうな本や燃えやすい衣類を置かない
避難と備蓄	逃げ道の確保 	玄関や窓までの経路に、倒れやすい家具や荷物を置いていないか確認する
	食料と水の備え 	普段の食料を多めに買い、古いものから消費する「ローリングストック」を始める
モバイル	リチウム電池発火 	モバイルバッテリーなどは、安全基準を満たした「PSEマーク」※付きを必ず選ぶ

※ PSEマークは、国の定める安全基準の審査に合格した電気製品に表示されます。

プロのワンポイント・アドバイス

引っ越し作業中、つい「一時的に」と廊下や玄関に段ボールを積み上げてしまいがちですが、これが火災時の避難を妨げるパニックの原因になります。必ず片付けましょう。

4月のうちに、ご家族で「ハザードマップ」を確認し、避難場所まで実際に歩いてみる「防災散歩」をおすすめします。

